



第 94 卷 第 3 号 史学・地理学・考古学

<b>論 説</b>	
霊元天皇の奥と東福門院.....	石 田 俊 ( 1 )
近代朝鮮における中国農民の野菜栽培に関する研究.....	李 正 熙 ( 38 )
——京畿道を事例として——	
<b>研究ノート</b>	
平安中期の雑袍勅許.....	佐 藤 早紀子 ( 73 )
<b>研究動向</b>	
都市王権論の現状と展望.....	櫛 木 謙 周 ( 93 )
<b>特別寄稿</b>	
読史会創立百周年記念大会講演によせて.....	勝 山 清 次 (110)
京都大学読史会の思い出.....	直 木 孝次郎 (111)
——一九四一年から一九五〇年を中心に——	
私の日本近代史研究回顧.....	松 尾 尊 兌 (123)
<b>書 評</b>	
上杉和央著『江戸知識人と地図』.....	小 野 将 (132)
古勝隆一著『中国中古の学術』.....	佐 藤 達 郎 (142)
橋本伸也著『帝国・身分・学校』.....	上 垣 豊 (148)
清水芳裕著『古代窯業技術の研究』.....	山 中 一 郎 (155)
<b>紹 介</b>	
林陸朗著『奈良朝人物列伝』.....	西 田 絢 (161)
藤井讓治・伊藤之雄編『日本の歴史 近世・近現代編』.....	吉 野 健 一 (162)
バルナル・レミイ著 (大清水裕訳)	
『ディオクレティアヌスと四帝統治』.....	西 村 昌 洋 (163)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

ものであり、邦語文献では「四分統治体制」とも訳されるが、訳者は原語の意味に忠実に「四帝統治」としている。確かに訳者の考えたとおり、テトラルキアには「四」と「統治」という意味はあるが、「分ける」という含意は存在しない。ディオクレティアヌスの統治が、四人の皇帝による単一の帝国の統治であったことを明示する、的を射た訳であると思う。

また、原文では本文中の( )内に指示されている註や典拠などのうち、長いものは傍註という形で抜き出され、本文中で言及される文献も巻末に別個にまとめる、という読者への便宜も図られている。ただ、その結果、訳文中に括弧の種類が増えているため、少なくとも「」が訳者による補いであることはどこかに明記しておくことが望ましいと思う。

最後に、気がついた範囲で誤植・訳語に關して少々。六七頁「サトゥスルヌス金庫」(p.53 le trésor de Saturne)。おそらく誤植で「サトゥルヌス金庫」。八六頁節題「無料の現物奉仕」(p.70 Les prestations gratuites)。「現物奉仕」では意味が分からないので、「無償奉仕」くらいか。

一一八頁「キリスト教の聖人たちの暮らしや宣教師たちの攻撃は」(p.100 les vies de saints et les diatribes des évangélistes)。ここでは史料ジャンルのことなので、「聖人伝や宣教師たちの誹謗文書」。

(新書判 一五四＋vii頁 二〇一〇年七月)

白水社 税別一〇五〇円)

(西村昌洋 龍谷大学非常勤講師)

## 『史林』投稿規定

◇資格 本协会会员であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

論説 1段組54字×19行の体裁で、

三三〇〇字以内

研究ノート 2段組29字×20行の体裁で、

二〇〇〇字以内

研究動向 2段組29字×20行の体裁で、

三三〇〇字以内

史料紹介 2段組29字×20行の体裁で、

三三〇〇字以内

書評・論文評 2段組、八〇〇字以内

紹介 3段組、一二〇〇字程度

◇いずれにおいても、本文や注だけでなく

謝辞や図表・翻刻を含めて、それぞれの

紙幅に収めること。

◇注は各章末に入れること。

◇「欧文タイトル」を添付すること。

◇論説には「要約」(四〇〇字以内)を添

付のこと。「要約」は上記の紙幅制限の

対象外とする。

◇論説および研究ノートの投稿者は、掲載

が決定した時点で、「欧文要約」(六〇〇

〜八〇〇語程度)を提出すること。なお、

英文要約に限り、翻訳による作成依頼にも応じるが、経費は投稿者負担とする。

◇投稿に際しては、①プリントアウト一部もしくはPDFファイル、および②電子データを送付する。電子データに関する詳細は下記「補足」の「電子データ作成要領」を参照。電子データを準備できない場合は、あらかじめ事務局まで連絡すること。

◇図版を用いる場合は、下記「補足」の「図版作成要領」に従って作成、添付すること。

注意・編集委員会において、印刷技術上、図版の修正や特殊活字の作成を要すると判断し、これを業者に委託した場合には、その経費の一部、数千円〜数万円を負担していただきます。あらかじめご了解下さい。

送り先・史林編集委員会  
〒261-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科内 史学研究会

介

『史林』投稿規定「補足」  
(電子データ作成要領)

・電子データは、フロッピーディスク、C

DR、CDRW、USBフラッシュメモリなどのメディアに保存して郵送することを原則とする。郵送に不便があるなどの事由で、メールによる投稿を希望する場合は、あらかじめ事務局に問い合わせること。

・本文の電子データは、マイクロソフト・ワード、一太郎、テキストファイルのいずれかの形式で保存し、保存形式(OSおよび使用ソフト)を明示すること。

・図版に電子データを使用する場合には、300dpi以上の解像度とする。ソフト(illustratorやPhotoshopなど)やバージョンについて事前に照会・確認をすること。

(図版作成要領)

・本文原稿中に図版の割付箇所を注記すること。

・仕上寸法は、最大で170mm×110mm(キャプション込み)とすること。

・図および写真は、仕上寸法の二倍(面積四倍)程度で作成し、希望縮尺率を明記すること。

・図は、トレーシングペーパーや製図用ケ

ント紙などに製図用インキで明瞭に描くこと。その際、線の太さを一定に保つため、製図用ペンを使用することが望ましい。

・図中の文字は写真植字を用いて印刷するので、鉛筆書きするか、上にトレーシングペーパーを重ね該箇所文字のみを書き入れること。また、インスタントレタリングやワープロ文字を原図に貼り付ける場合は、仕上段階の鮮明度を配慮すること。

・写真は、原版が十分に鮮明でコントラストが明瞭なものを選ぶこと。なお、巻頭にアート紙で印刷することを希望する場合は、割付・仕上等は編集委員会で調整する。その経費は投稿者負担とする。

・表は、仕上を配慮して、文字数や表現法を工夫すること。原表の掲載を希望する場合は、その旨を明記し、図版に準じた体裁を整えること。

注意・図表に不備がある場合は、投稿者に修正を依頼するか、編集委員会が修正します(経費は投稿者負担となります)。

(論文等の電子的公開について)

・著者が論文等を任意のサーバーに、機関レポジトリ等を使って公表する場合は、以下の条件を満たすことを要する。この条件を満たす限りにおいて、本会への承諾はいは不要とする。

- イ) 『史林』の版面をそのままPDFファイルなどにして公開する場合は、掲載誌刊行後、二年を経過していること。
- ロ) 論文の出版を明らかにすること。
- ハ) 営利目的でないこと。

問合せ先：史学研究会事務局

SHR@bunkyo-u.ac.jp

(二〇一〇年一月改定)

### 受 贈 誌

(二〇一〇年十二月十七日)

二〇一一年一月六日

ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The Official Journal of THE ANTHROPOLOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一八一―二 (Japanese Series)  
ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The Official Journal of THE ANTHROPOLOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一

一八一―三

日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社  
会科学院日本研究所中華日本学会) 二〇  
一〇・六

九州国際大学 法学論集 (九州国際大学法  
学会) 一七―二

岐阜経済大学論集 (岐阜経済大学学会) 四  
四―一

史迹と美術 (史迹美術同致会) 八二〇

日本歴史 (日本歴史学編集) 七五二

史學 (三田史学会) 七九―四

東方學會報 (東方学会) 九九

神道史研究 (神道史学会) 五八―二

韓国史研究叢報 (韓国国史編纂委員会) 一  
五―

経済科学 (名古屋大学大学院経済学研究  
科) 五八―三

古代文化 (古代学協会) 六二―三

### 編 集 後 記

このたびの東日本大震災の被害にあわれた皆様、関係の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。震災以降、何かとこれまで通りにはいかないことも生じておりますが、お陰さまで九四巻第三号をこうして皆様に

お届けすることができました。皆様の日頃のご高配に改めて感謝を申し上げます。

本号は、十四名の方にご執筆いただき、通常号としては盛りだくさんとなりました。特に、直木、松尾両氏にご執筆いただいた特別寄稿は、単なる昔語りではなく、史学史としても貴重な証言を含んでいるものと思います。歴史研究の在り方そのものが時代によって変化してきたことを実感いただきながら、本号をご味読いただけましたら幸いです。(溝上宏美)

### ◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkynka.jp/index.html>

二〇一一年五月二五日印刷  
二〇一一年五月二二日発行

定価 一、二〇〇円  
史 林 第九四巻第三号 (通巻第四八七号)

京都市左京区吉田本町京都大学文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三―二七八七  
FAX (〇七五) 七五三―二七八七

発行人 史 学 研 究 会

振替京都〇二〇七〇―二一五五番  
理事長 夫 馬 進

印刷所 中村印刷株式会社  
京都市南区上鳥羽藤田二九

# THE SHIRIN

or the

## JOURNAL OF HISTORY

---

Vol. XCIV No. 3

May 2011

---

### CONTENTS

#### Articles :

- ISHIDA Shun, The Inner Palace of Emperor Reigen and  
Former Empress Tōfukumon'in ..... ( 1 )
- YI Jung-hee, A Study of Vegetable Cultivation of Chinese Farmers in  
Modern Korea: Using Gyeonggi-do as a Case Study ..... ( 38 )

#### Note :

- SATO Sakiko, The *Zappo Chokkyo* in the Mid-Heian Period ..... ( 73 )

#### Academic Trends :

- KUSHIKI Yoshinori, The "Urban Kingship" Theory: Recent Studies and Perspectives ... ( 93 )

#### Special Contributions :

- KATSUYAMA Seiji, Foreword ..... (110)
- NAOKI Kōjirō, My Memories of the Tokushi-kai at Kyoto University:  
from 1941 to 1950 ..... (111)
- MATSUO Takayoshi, My Reminiscences of Research on Japanese Modern History ... (123)

#### Book reviews :

- UESUGI Kazuhiro, *The Age of Collections:  
Intellectuals and Maps in Eighteenth Century Japan* (ONO Sho) ..... (132)
- KOGACHI Ryuichi, *Intellectual Activities in Medieval China* (SATO Tatsuro) ..... (142)
- HASHIMOTO Nobuya, *Empire, Order, School: The Social-Cultural History  
of Education in the Russian Empire* (UEGAKI Yutaka) ..... (148)
- SHIMIZU Yoshihiro, *A Study on Ancient Ceramic Technology* (YAMANAKA Ichiro) ..... (155)

#### Miscellaneous :

---

*Published*

*by*

THE SHIGAKU KENKYUKAI

*(The Society of Historical Research)*

Kyoto University, Kyoto, Japan